

氏名： 安田 次郎 (YASUDA Tsuguo)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
学位： 博士 (文学) (2002 東京大学)
職名： 教授
専門分野： 日本史学、とくに中世の寺院史や社会史
URL： <http://www.li.ocha.ac.jp/hum/yasuda.htm>
E-mail： yasuda.tsuguo@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

寺院／神社／荘園／都市／庶民
temple / shrine / manor / town / common people

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・「記録の作為」(2005～2007年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「興福寺旧蔵文書による古文書と古記録との関連についての史料学的研究」研究成果報告書。2008年3月)

◆研究内容 / Research Pursuits

2007年度は、日本中世史のうち南北朝・室町時代の概説をどのように書くべきかを考えた。その結果、以下のような編成で執筆を行った。はじめに(永仁一争乱のきざし)。第一章弓矢から打物へ(鎌倉幕府の滅亡、公家統一の政道、尊氏と直義の離反、弓矢と打ち物) 第二章京都の幕府(幕府再興、苦闘する南朝、分裂する幕府、最前線としての大和) 第三章婆娑羅(婆娑羅大名、婆娑羅の芸能、身の振舞廉直、婆娑羅のちから) 第四章中夏無為の代へ(九州の争乱、変わる荘園、義詮の治世、斯波と細川) 第五章日本国王(国内平定、花の御所、東アジアのなかで、唐物趣味) 第六章(京と鎌倉、宋希けいの見た日本、くじびき将軍、民衆の熱気) 第七章飢饉・一揆・合戦(将軍犬死、土一揆、和物・枯淡・抑制の美、寛正の飢饉) 第八章応仁の乱(家督争い、大和の応仁、落日の幕府、地方の時代) おわりに

◆教育内容 / Educational Pursuits

一年生を主たる対象とした日本史入門講読では、佐伯真一『戦場の精神史』（NHK ブックス）を読んだ。いわゆる武士道なるものは、近世末あるいは近代初めになって、とくに西洋的な教育を受けた新渡戸稲造によって作り出されたもので、それまでの武士の戦い方がきわめて散文的なものであることなどを学んだ。日本史概説の授業では、京都、鎌倉、奈良といった都市に重点を置いて中世史の概説を行った。比較文化史の授業においては、中世の人々が戦争や飢饉といった危機をどう乗り越えたかを概観した。学部の演習では、醍醐寺三宝院の『満濟准后日記』を輪読し、將軍義教期の室町幕府のあり方について知見を深めた。大学院の演習では、従来から続けている『大乘院寺社雑事記』紙背文書の研究を継続した。紙背に残された事実と、表の日記に記されたことには落差があり、その差は『大乘院寺社雑事記』の性格について示唆を与える。その他、学位論文の作成を指導した。

◆研究計画

ここ数年来行っている福智院家文書の翻刻・刊行を継続させ、成果を学界にひきつづき提供していく。これによって寺院権門としての興福寺や中世都市としての奈良の研究は、新しい段階へ進むことになるだろう。個人的には、寺院と社会の関係について、あらためてまとまった考察を行う予定。

寺院や都市に関しては、共同研究に参加する用意がある。

◆メッセージ

ひとが今までどのように生きてきたのかに興味があり、じっくり材料を集めるのが好きで、自分の頭で最後まで考え抜くことができるひとを待っています。